

大安寺3.2倍 操山3.1倍

1/8 (土) 県立中学適性検査 & 面接

学校名	募集定員(人)	志願者数(人)	倍率(倍)
岡山操山	120	369	3.1
倉敷天城	120	333	2.8
津山	80	151	1.9
岡山大安寺	160	514	3.2

12月10日、県立中の2022年度入試出願状況が県教委によって発表されました。

出願者数と競争率は昨年並み

それによると、操山(岡山市)、天城(倉敷市)、津山(津山市)と中等教育学校の大安寺(岡山市)の全4校(総定員480人)に対し、1367人(前年度1366人)が出願。平均競争率は過去最低だった前年度と同じ2.8倍になりました。

操山は定員120人に369人が出願して、競争率は3.1倍(前年度3.5倍)。同じく定員120人の天城は333人で、2.8倍(2.4倍)。定員80人の津山は出願者151人で、1.9倍(2.1倍)。大安寺は定員160人に514人が出願し、3.2倍(3.1倍)でした。

競争率は津山が過去最低で、操山も最も低かった18年度と同じでした。県教委高校魅力化推進室は「小学生の減少傾向に加え、新型コロナウイルス禍で各校が受験生にアピールしづらかったことが影響したのではないかと語っています。

検査日と合格通知について

適性検査は令和4年1月8日(土)で、適性検査(検査I・検査II)と集団面接(生徒約8人:検査官2人)があります。結果は同21日までに受験生に郵送で通知されます。

簡易開示について

21日の合格通知の翌日から、本人か保護者で受験票を各学校に携行した人に限り、適性検査結果の簡易開示(得点を教えてもらえる)が行われます。これは、補欠による繰り上がりの可能性を知る重要な手がかりとなりますので必ず手続きをして当塾までお知らせください。(得点等の個人情報を守ります)

面接内容について

当塾では約20年間の面接内容を収録した「面接のツボ」を作成し、面接練習に使用しています。今年も受験生各位に面接内容のアンケートを実施しますので、ご協力よろしくお願いいたします。

集中冬期講習会の受け方 弱点克服どうする?

●12月27日(月)～1月7日(金)にかけて集中冬期講習会が実施されます。

目標をたてよう!

集中冬期講習で、特にどの教科のどの単元を強化するのか。プランが具体的にあればあるほど効果も大きくなります。

1)小6→第一志望突破のための弱点補強

- 直近の過去問3年分を試験時間より5～10分短い時間で解く(例岡白なら50分、県立なら40分)
↓
- 間違った単元を弱いと思う順に並べ替える(まずはすぐに得点につながる「知識」問題から)
↓
- 国語＝言語要素(漢字・知識・文法等)は再度チャレンジして完全に書けるようにする。
理科＝ファイナルチェックは完璧に仕上げる。(覚えて解ける問題は完璧に)
算数＝大問1～3は完全に解けるようにする。式が必要な問題は、かならず式を書く。
※ トータルで専願150点、非専170点をめざす。

以上のことは、授業中でも重複することがありますが、気にしないで自分のペースで進めて行く。

2)小5～小1→冬こそ弱点補強のチャンス

新しい単元に進まない冬こそ弱点補強のチャンスです。→吉備システムを使って最強の弱点補強を!

- 授業初日にテキストが配られたら、まず索引を見て教科毎に(A:得意、B:不得意)に分類します。(ざっくりとで結構です)
- Bの不得意単元は、意識的に予習をしてわからない問題をピックアップして授業に臨むように心がけましょう。
- わかった or わからない は自力で解けたかどうかで決まります。自力で解けるまで頑張りましょう。